

行ってこーわい 会ってこーわい

こて 「愛媛鰻絵美術館」

美術作品で左官の魅力を発信

No. 160

「こて絵の美術館は全国で数カ所。制作者も愛媛では私だけでしょう」と話すのは、愛媛鰻絵美術館（徳丸1131番地6）を開設して自身の作品を公開している梶田高弘さん＝松山市＝。こてを使って壁や床を塗り仕上げる左官職人です。

こて絵とは、左官が使う土やしっくいをこてで盛って作る作品で、一般的な絵画とは異なる立体的な表現がその魅力。35年ほど前、北海道で初めて見た作品に感動して制作を始めた梶田さんは、「材料の種類や塗り方で仕上がりが大きく変わる。身に付けた技術や知識が幅広い表現につながると気づき、夢中になった」と振り返ります。「制作を始めたら作品にばかりきりで、食事の時間も惜しんで作業をします」と笑うように、イメージ通りの表現を追求するために道具を改良するなど、日々試行錯誤を続けています。

「便利な建築材料が増えた今だからこそ、昔ながらの技術や伝統素材の良さを伝えたい」と話す梶田さんは、会社や職業訓練所での後進育成に加え、子ども向けの体験会を行うなど、左官の魅力発信にも力を入れています。「いずれここを学校にして、私が学んだことをたくさんの人に教えられたら」とほほ笑む梶田さんは、長年にわたり受け継がれてきた技術を、大切に次代へと伝えていきます。



1 初めて制作した思い出の作品を掲げる梶田さん 2 愛用のこてで手際よく材料を塗っていく

見学は第2・第4日曜限定（要電話予約）。体験希望は事前にご相談ください。
☎ 973-9439（梶田建設）

▼編集後記

新年あけましておめでと
うございます。

日の丸を背負った2人の笑顔、ご覧いただけましたか（13ページ）。人生の半分以上の期間、大好きなホッケーに打ち込んできた2人の努力は相当なもの。常に向上心を持って目標を探し続ける姿勢は本当に頼もしい限りです。大人になると、何でも卒なくこなすことに終始しがちですが、好きなことを極めるための努力は、いつまでも惜しまずにいたいですね。（酒井）

今月号は、表彰の話題が盛りだくさん。受賞された皆さんの笑顔もたくさん紹介でき、新年にふさわしい華やかな紙面になりました。

どんな分野でも、長く続けていると悩みや苦労があったはず。それでも、「楽しいから続けてこられた」と振り返る皆さんは、とても晴れやかな表情でした。私も見習って、一度は投げ出してしまっただことにも再挑戦してみようと思います。もちろん、楽しむことを忘れずに。（加藤）

Proud!
Japan

※日本産品の販売を促進しよう

広告

サンタはアイスクリームを作っている会社です。

主な取引先
赤城乳業(株)、オハヨー乳業(株)、協同乳業(株)、
ハーゲンダッツジャパン(株)、(株)明治、
森永製菓(株)、モロゾフ(株)、(株)ロッテ 他

〒791-3194
愛媛県伊予郡松前町北川原1205-1

TEL.089-984-1511

検索

広告

エミフルMASAKI

エミフル 検索

TEL:089-984-2111 https://emifull.jp

有料広告募集中

掲載場所 裏表紙の最下段
 広告料 20,000円/枠(1カ月)
 大きさ 縦40ミリ×横60ミリ
 カラー フルカラー

☎ 総務課広報広係 ☎ 985-4132